

「老年という海をゆく

—沖縄から始まった私の学び」床田利香

このたび、八重山認知症疾患医療センターは講演会を開催いたします。

講師の医学博士・大井玄先生は臨床医の立場を維持しながら国際保健、地域医療、終末期医療にかかわってこられました。

講演会に向けた先生のお言葉を紹介いたします。「皆さま、人生百年といわれる時代になつてまいりました。老いとともに体力も知力も衰えていきますが、周囲との関係が良いなら、最後まで幸せに老いの道をたどれるのを見てまいりました。しかもそれを一番明瞭に学んだのは沖縄でした。私たちはそもそも何であるから始め、私の学んできたことをお話しいたします」

「この機会にみなさまぜひ一緒に聴いてみませんか？」

◆日時 12月16日(金) 午後6時30分開始 午後8時終了予定

◆場所 石垣市役所コミュニティルーム

◆対象 どなたでも

◆人数 120人まで(会場)

◆主催 認知症疾患医療センター(八重山) ぬちくすい診療所(87-7931)

◆共催 石垣市・竹富町・与那国町・八重山地区医師会

◆日 時 12月16日(金) 午後6時30分開始 午後8時終了予定

◆場所 石垣市役所コミュニティルーム

◆対象 どなたでも

◆人数 120人まで(会場)

◆主催 認知症疾患医療センター(八重山) ぬちくすい診療所(87-7931)

◆共催 石垣市・竹富町・与那国町・八重山地区医師会

◆日 時 12月16日(金) 午後6時30分開始 午後8時終了予定

◆場所 石垣市役所コミュニティルーム

◆対象 どなたでも

◆人数 120人まで(会場)

◆主催 認知症疾患医療センター(八重山) ぬちくすい診療所(87-7931)

◆共催 石垣市・竹富町・与那国町・八重山地区医師会

認知症との関わり方学ぶ

東京大学 名誉教授 大井氏が体験交え説明

八重山認知症疾患医療センターの講演会が16日、石垣市役所コミュニティルームで行われた。東京大



医療従事者など多くの関係者が参加した八重山認知症疾患医療センターの講演会=16日夜、市役所コミュニティルーム

学名誉教授の大井玄氏が講師を務め、「老年という海をゆく 沖縄から始まった私の学び」の演題で自身の体験を交えながら認知症との関わり方について説明した。人生を変えるような事業だったという「寝たきり老人・ぼけ老人宅診プロジェクト」

「クト」では、物盗られ妄想などで孤立してしまった老人を診たことで認知症は病気ではないと確信。「離れ一人寂しそつにしている所で話をよく聞いてあげたら大きな声で泣き始めた」と振り返った。

佐敷村では老年認知症の人のうち妄想や幻覚などの周辺症状が全くないという先行研究に着目。「沖縄から学ぼう」と思い立ち読谷村で調査を行った結果、「ゆつたりした時間感覚と高齢者の誇りを傷つけない地域性、高齢者に現金収入があること」の三つが周辺症状がでない要因だと分かった」と強調した。

認知症については「高齢者の認知力の低下は自然で連続した正常な現象。加齢に伴う生活の『障害』だ」と強調した。